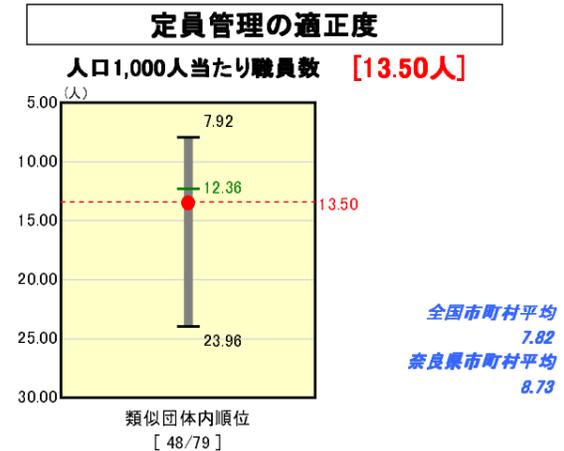
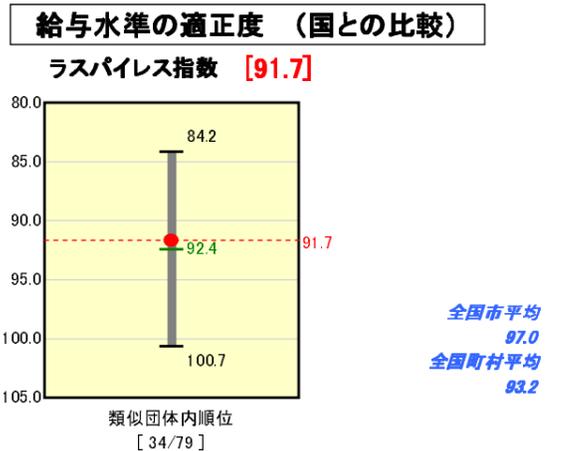
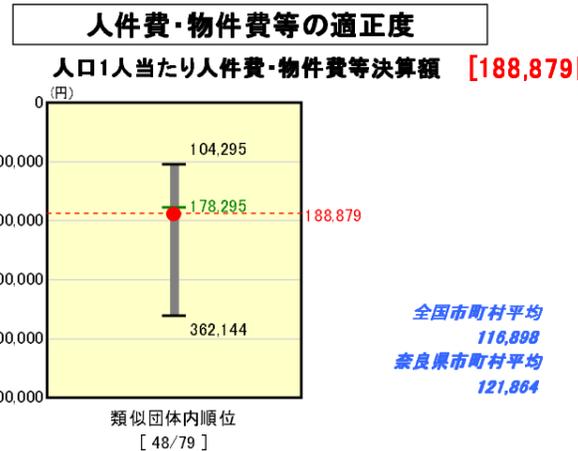
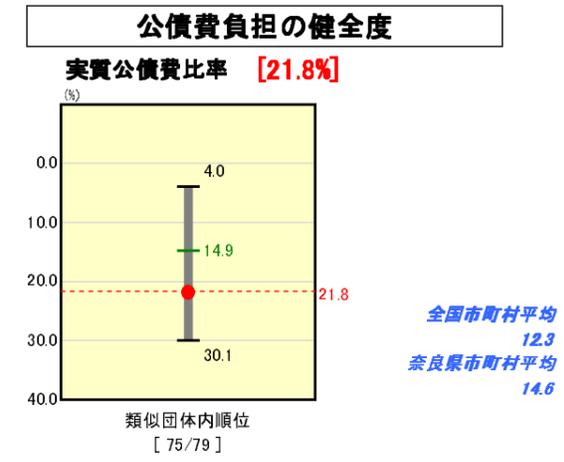
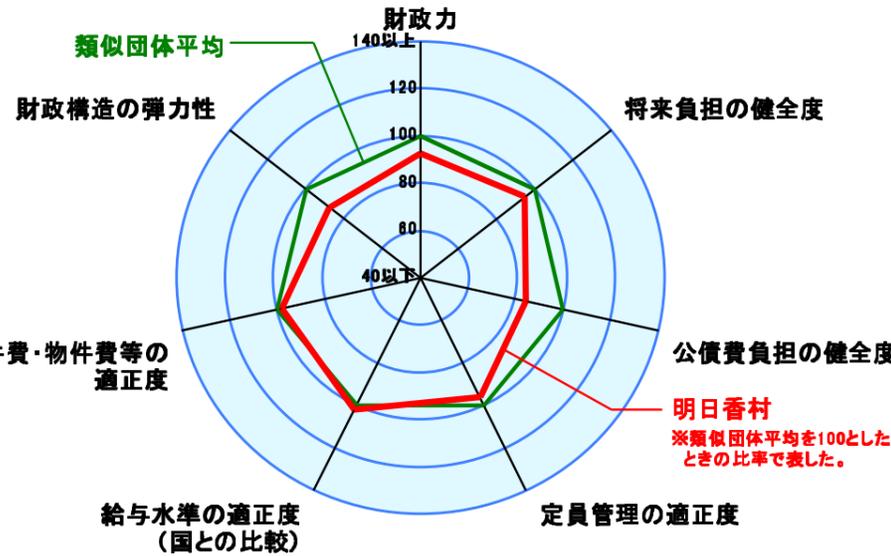
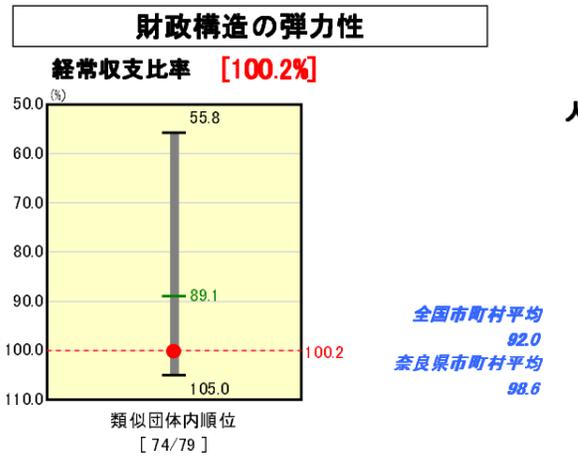
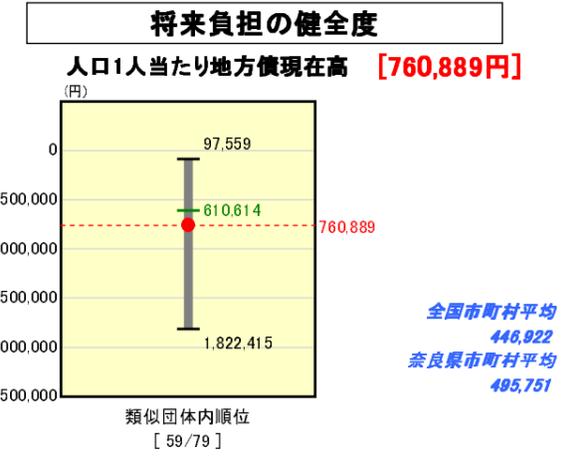
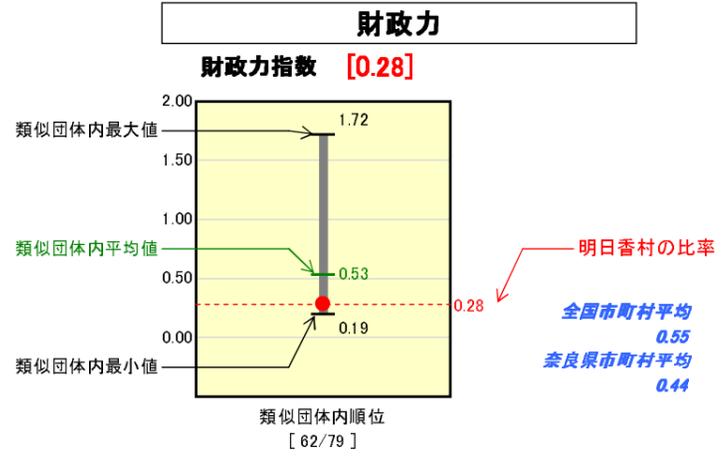


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

奈良県 明日香村

人口	6,372人	(H20.3.31現在)
面積	24.08	km ²
歳入総額	4,285,401	千円
歳出総額	4,118,862	千円
実質収支	162,249	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

・ラスパイレス指数…退職者不補充により、減少傾向である。人経費総額についても減少している。・財政力指数…明日香法による規制があるので、住宅開発や法人への誘致が他の類団よりも困難な為基準財政収入額が低い。近年財政力指数が上がっているが、基準財政需要額の減少による。

・経常収支比率…18年度から19年度にかけて標準財政規模が約60,000千円減少しながらも18年度から1ポイント減となっている。下
水道会計への繰出金において18年度から赤字繰出金(臨時)として扱った繰出金が0になり、分流式下水道等に要する経費(経常)扱いとなっている。本村では下水道の及率80%代となっているため分流式下水道等に要する経費(経常)の割合が大きくなる。これを17年度決算と同様に計算すると95.4%となる。

・人口1人当たり人件費・物件費…行率に伴い退職者不補充など、経常経費の削減に勤めている。18年度から約48,000千円の減少となっているが、人口についても毎年100人程度、1.5%程度減少している。

・人口1人当たりの地方債現在高…年度中の起債借入額が償還額を上回らないようにしているため今後も減少していくと思われる。地方債残高には用地先行取得分があり、この財源については全額国庫となるのでそれを除けば539,404円となる

・実質公債費比率…上記の通り、年度中の起債借入額が償還額を上回らないようにしているため、地方債残高の減少していくので今は減少していくと思われる。

・人口1000人当たり職員数…他の類団には見られない文化財課(7人)及び明日香法にまつわる事務などで、類団より高くなっている。本村の人口は7,000人未満であるので、その様な部分を加味すると、類団よりも低くなると思われる。